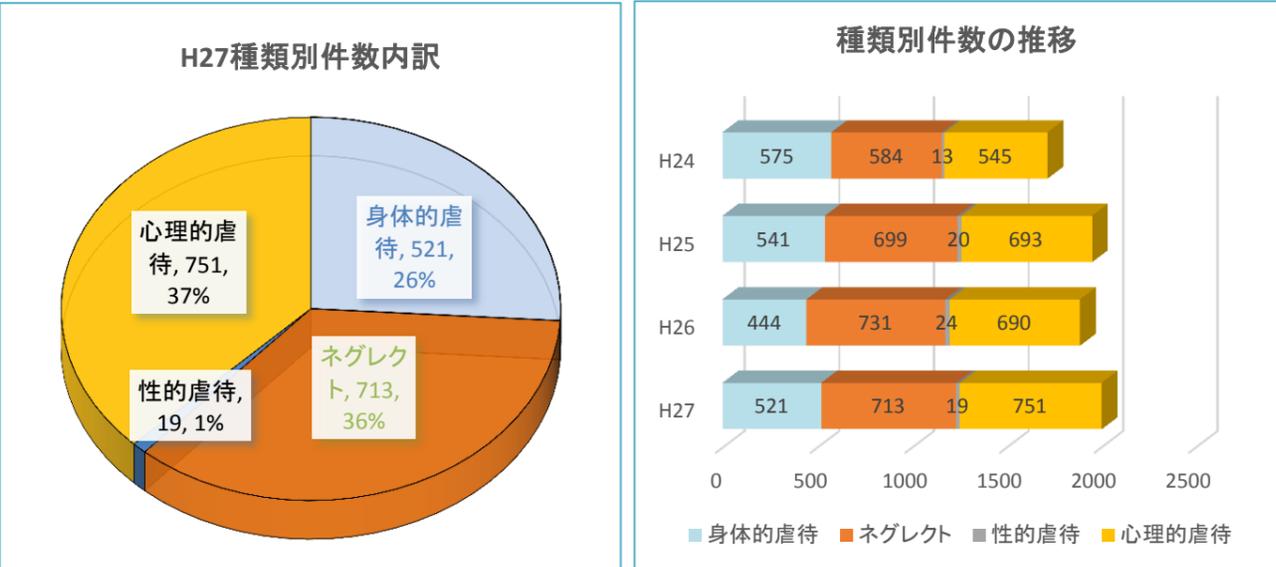
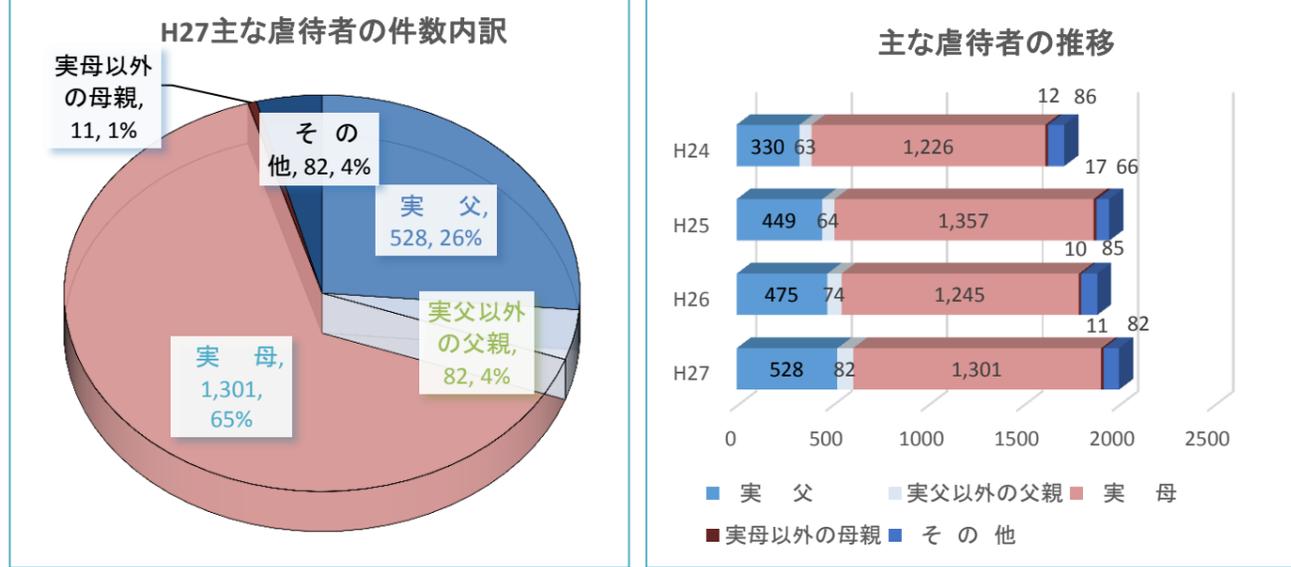


虐待の種類



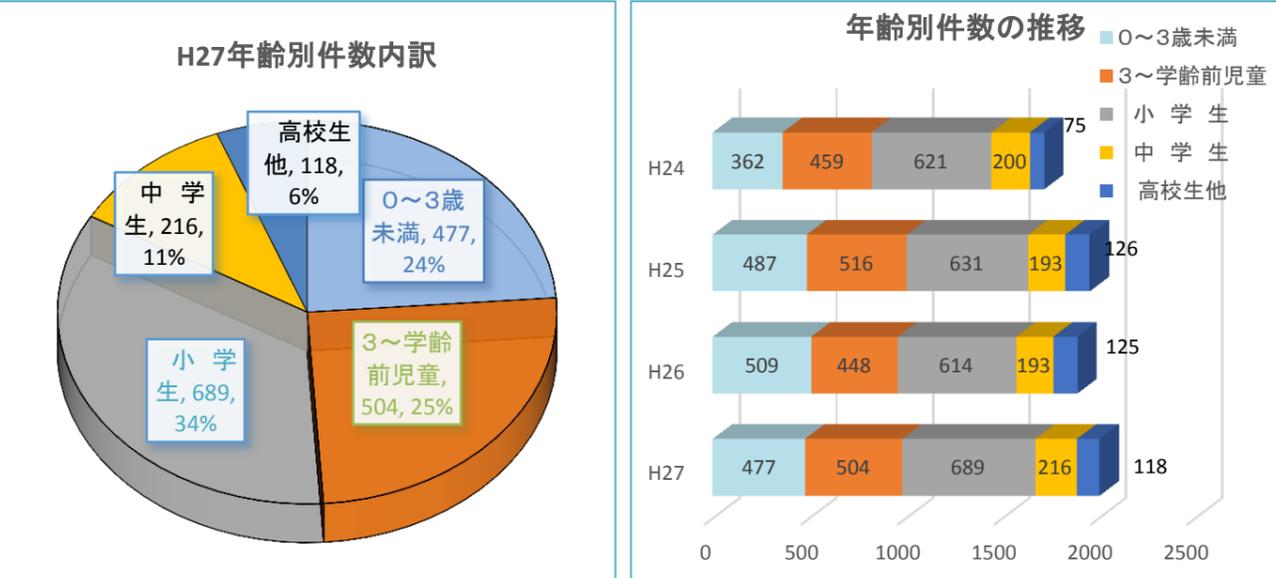
「心理的虐待」が最も多く、次いで「ネグレクト」「身体的虐待」の順に多い。前年度と比べると「身体的虐待」及び「心理的虐待」の件数の増加が目立ち、「身体的虐待」は77件増（17.3%増）、「心理的虐待」は61件増（8.8%増）である。

主な虐待者



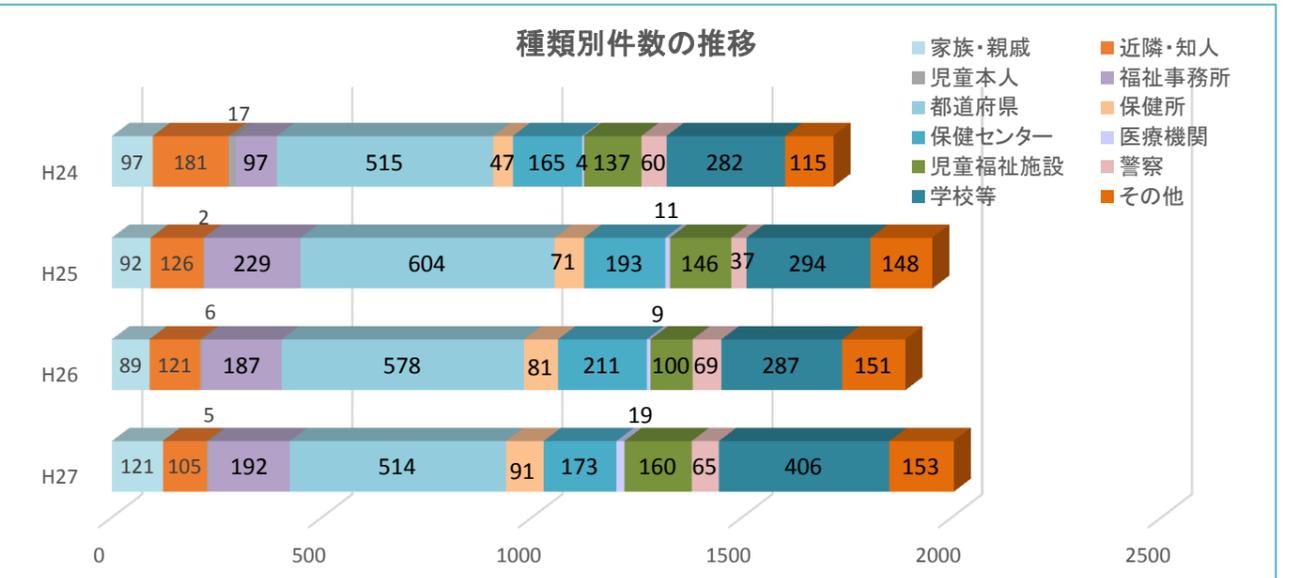
「実母」の割合が最も多く（65%）、「実父」と合わせた「実親」の割合が、全体の9割を超えている。前年度と比べると「実母」及び「実父」の割合が増加傾向にある。特に「実父」は53件増（11.2%）と増加率が高い。

被虐待児の年齢



全体の約半数が就学前の児童である。前年度と比べると「0～3歳未満」の被虐待児の割合はやや減少しているが、「3歳～学齢前児童」と「小学生」及び「中学生」の割合が増加している。

虐待通告の経路



「都道府県」からの通告が最も多く、次いで「学校等」「福祉事務所」の順である。前年度と比べると「児童福祉施設」及び「学校等」が、60件増（60.0%増）、119件増（41.5%増）と特に増加率が目立っている。また「保健所」「医療機関」からの通告件数が増加傾向にある。